

総務企画委員会

◎藤澤 和成 ○田中 隆徳
石嶋 巖 小倉ひと美
増淵 慎治 尾木 恵子
堀江 健一 榎戸甲子夫
◎委員長 ○副委員長

6月14日に開催された総務企画委員会では、議案3案（補正予算議案2案、条例議案1案）について審議し、全て原案のとおり可決されました。

■議案第65号

令和3年度筑西市一般会計補正予算（第3号）

◇企業版ふるさと納税推進事業

問 本市と関わりのない企業等への働きかけはどのように行っているのか。

答 西部メディアカルセンター、道の駅の建設等に携わった企業、約65社に通知を送付し、問い合わせをいただいている状況である。さらに民間企業と業務提携し、本市の総合戦略にある65事業のうち14事業をPRしており、コロナ収束後に営業をかける予定である。

■議案第67号
筑西市手数料条例の一部改正について

問 個人番号カードとは。

答 マイナンバーカードのこと。

番号法において、カードに基本4情報（住所、氏名、生年月日、性別）を記載し、写真を載せて個人を特定させる際の本人確認カード。ICチップに電子的な証明を搭載し、ネットワーク上で本人を確認する際に使用するもの。
問 暗証番号を忘れた場合は。
答 本人が窓口で変更を申し出れば、変更は可能である。



福祉文教委員会

◎三澤 隆一 ○鈴木 一樹
水柿 美幸 津田 修
真次 洋行 仁平 正巳
三浦 讓 箱守 茂樹
◎委員長 ○副委員長

6月15日に開催された福祉文教委員会では、陳情1件、議案7案（財産取得議案1案、契約議案2案、補正予算議案3案、地方独立行政法人議案1案）について審議し、全て原案のとおり可決されました。

■議案第59号

財産の取得について

問 配布されたランドセルは、どのくらい使用されているのか。

答 今年度入学児童へのアンケート調査では、99.5%の児童が使用している。

■議案第65号

令和3年度筑西市一般会計補正予算（第3号）

◇夜間休日一次救急診療所運営費

問 マイナンバーカードの保険証利用に対応した機器を導入し、

カードのデータをどのように活用していくのか。

答 顔認証による本人確認後、国のサーバーにつながることにより、処方された薬の情報管理、高額医療費の限度額適用認定の手続きがオンラインで可能となる。また、医療費の情報管理機能もあり、確定申告の際に利用できる。

■議案第69号

令和3年度筑西市一般会計補正予算（第4号）

◇新型コロナウイルス感染症対策事業

問 簡易PCR検査の実施目的は。
答 ワクチン未接種の方を対象に、不安を取り除くため、短期間で多数の方が検査を受けられる体制をつくる必要がある。



経済土木委員会

○保坂 直樹 ○中座 敏和
 國府田喜久男 稲川 新二
 小島 信一 大嶋 茂
 秋山 恵一 赤城 正徳
 ◎委員長 ○副委員長

6月16日に開催された経済土木委員会では、請願1件、議案4案（市道路線議案2案、補正予算議案1案、条例議案1案）について審議し、全て原案のとおり可決されました。

■請願第2号

新型コロナ禍による米危機の改善を求める請願

問 新型コロナ禍でなくても、米価下落は以前から起きていたと思うが。

答 米価は年々下がっているが、コロナ禍による飲食店の休業等により米の需要が減少している。

■議案第64号

筑西市伊佐山排水樋管管理事業基金条例の制定について

問 民間2社からの維持管理負担金の算出根拠は。また、今後継続して支払いがあるのか。

答 排水の面積比率によって決めている。50年支払うことで2社に理解いただいている。

■議案第65号

令和3年度筑西市一般会計補正予算（第3号）

◇商業活性化補助事業

問 空き店舗等活用事業の件数と業種は。また、申請のあった地域は。

答 継続4件、新規4件。相談中3件、新規2件を見込んでいる。業種は新規のうち、飲食業、小売業、福祉関係、学習塾の4件。平成28年度から25店舗が開業している。全て下館地区への出店。下館駅北側11件、下館駅南側13件、玉戸駅南側1件。



議案質疑

第2回定例会に提出された議案に対する質疑と回答の主なものは次のとおりです。

◆議案第59号◆

財産の取得について

問 小学校新入学児童ランドセル購入について、仕様で色が赤と黒のみであるが、他の色の要望や検討はされているのか。

答 今年度調達する分については、これまでどおり黒と赤の2色を予定している。次年度以降はカラーバリエーションについても検討していく。

◆議案第60号◆

工事請負契約の締結について

問 協和中学校プール整備工事について、明野中学校と比べて工事費が膨らんでいる要因は。地盤の状況や建物の形状及び建設資材の価格の上昇、消費税の引き上げにより金額の差が生じている。

◆議案第65号◆
令和3年度筑西市一般会計補正予算（第3号）

◇新型コロナウイルス感染症対応地方創生事業

問 プレミアム付商品券について、今回、商品券の全世帯への無料配布は検討しなかったのか。

答 配布方式の場合、全世帯への配布だと費用負担が大きいこと、また、手元に届くまでの時間を要することから、検討は行っていない。

◇商業活性化補助事業

問 市商業地域空き店舗等活用事業補助金は、コロナ禍において申請が増えている。この状況をどう分析するか。

答 1点目は、平成28年度から開始した本事業が周知されてきたこと。2点目は、新たな出店を考えている事業者が、できるだけ経費を抑えるため、情報を収集していること。3点目は、コロナ禍の今だからこそ、よい物件が見つかる状況であることが挙げられる。